組合ニュース

第１５１７８号
２０１９年１月１０日（木）
新日鐵住金和歌山労働組合
組　織　教　宣　部

WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ　http://nssmwu.jp/
代表内線番号　和歌山地区(本部)　(54)-3590　堺地区　652990　海南地区　(54)-5555

2019 年度第 4 回中央委員会報告

【日時】12 月 27 日（木）
8 時 30 分～9 時 50 分
【出欠】出席 80 人　委任 12 人　欠席 1 人
【議長】後山氏

Ⅰ　報告事項

1. 上部団体会議報告
   ・第 28 回中央執行委員会
   ・中央労使協議報告
2. 箇所労使協議報告
   ・1 月度生産計画について
   ・2018 年度箇所下期定例経営委員会
   ・2018 年度 4／四期
   要人員計画について
   ・コークスガス精製事業の
   譲渡受けについて
3. 政策実現対策委員会報告
   ・和歌山県知事選挙の総括について
   ・「第 19 回統一地方選挙」における
   立候補予定者の推薦について
4. 「年末助け合いカンパ」の
   取組み結果について
5. 「しょうへいくんを救う会」への
   カンパ活動結果について
6. 1 月度日程について

Ⅱ　審議事項

1. 和歌山労組における
   AP19 春季取組みに関する件（案）
2. 共済特別会計補正予算に関する件（案）

中央委員会の議事内容（抜粋）を紹介します。

◆政策実現対策委員会報告

・「第 19 回統一地方選挙」における
立候補予定者の推薦について

1. 和歌山県議会（岩出市選挙区）立候補予定者
   氏　　名　坂田　隆徳（さかた　たかのり）
   生年月日　1979 年 4 月 25 日　39 歳
   経　　歴　2016 年 4 月
   民進党和歌山県第 2 区総支部長

和歌山県在住組合員の生活の活性化、公正な県政運営にご尽力いただけるものと判断し、上記の立候補予定者を推薦します。
各支部のご理解とご協力をお願いします。

◆「年末助け合いカンパ」の取組み結果について

1. 集約結果

支　部　名	カンパ額(円)
総　　務	123,500
工程技術	130,000
鋼管技術	173,280
コークス	81,000
製銑原料	51,500
製　　銑	111,755
製　　鋼	218,000
ステンレス	72,500
鋼　　片	73,000
薄　　板	77,000
中径製管	92,500
中径製品	189,002
小径製管	119,000

支　部　名	カンパ額(円)
小径製品	157,000
冷間製管	118,000
設備管理	169,000
製銑保全	45,000
製鋼保全	43,666
圧延保全	64,300
海南保全	67,500
動　　力	58,578
大　　形	61,000
設備総務	61,500
所　幹　部	10,000
生活協同組合	13,800
労働組合	35,209
合　　計	**2,416,590**

2．カンパ金使途明細

(1) 長期療養者お見舞い

現金　　10，000 円×17 人

＝　170，000 円

お見舞品 5，512 円×17 人

＝　93，704 円

(2) 逝去者御遺族お見舞い

現金　100，000 円×1 人

＝　100，000 円

(3) お見舞い袋代　＝　216 円

(4) 新日鐵住金労連きずな基金

現金　500 円×3，070 人

(12 月 1 日現在の組合員数)

＝1，535，000 円

基幹労連ふれ愛カンパ

(きずな基金 500 円の中から 50 円を支出)

(5) 釜石支援カンパ

現金　＝　100，000 円

(6) カンパ金使途合計

＝1，998，920 円

3．残金

(1) カンパ金 2，416，590 円

－使途 1，998，920 円

＝　417，670 円

残金の 418，170 円は、

福祉積立金に入金する。

(2) 福祉積立金残高

(2018 年 12 月 14 日現在)

＝3，756，904 円

◆「しょうへいくんを救う会」へのカンパ活動結果について

1．集約結果

支部名	カンパ額(円)
総務	5,000
工程技術	8,500
鋼管技術	11,500
コークス	9,500
製銑原料	8,500
製銑	9,500
製鋼	18,000
ステンレス	9,500
鋼片	16,000
薄板	14,000
中径製管	6,000
中径製品	25,000

支部名	カンパ額(円)
小径製管	15,500
小径製品	15,000
冷間製管	13,500
設備管理	10,500
製銑保全	5,500
製鋼保全	5,500
圧延保全	9,000
海南保全	6,500
動力	5,500
大形	15,000
設備総務	9,000
労働組合	8,000
合計	**259,500**

2．カンパ金の使途

しょうへいくんを救う会への募金として、今回いただいたカンパ金 259，500 円と目標金額(275，500 円)に対しての不足分(16，000 円)を福祉積立金より拠出し合計金額の 275，500 円を新日鐵住金労連へ送金します。

3．福祉積立金残高（2018 年 12 月 19 日現在）

3，756，904 円－16，000 円＝3，740，904 円

各種カンパへのご協力ありがとうございました！引き続き組合活動へのご理解とご協力をお願い致します。

◆和歌山労組における AP19 春季取組みに関する件（案）

新日鐵住金労連は、12 月 13 日に開催した第 28 回中央執行委員会において、「新日鐵住金労連としての AP19 春季取組みへの対応について(案)」を提起し、取巻く環境等を総合的に勘案するならば、「個別改善年度」となるＡＰ19 春季取組みでは、特段、労働条件の改善に向け取組む状況にはないという考え方を示したところである。

従って、今後の進め方として、各単組において職場動向の把握を行い、その結果を 2019 年 1 月 16 日開催予定の第 29 回中央執行委員会の場で集約し、それを踏まえ、「AP19 春季取組みに臨む新日鐵住金労連の基本スタンス(案)」を提起するとしている。

和歌山労組としても本日以降、下記内容について各支部で意見集約を行います。

期間：2018 年 12 月 27 日～2019 年 1 月 11 日

内容：12 月 13 日に開催された第 28 回中央執行委員会において示された「新日鐵住金労連としてのＡＰ19 春季取組みへの対応について（案)」(ホームページの中央委員会報告）を参照のこと。

中央委員会の資料は組合ホームページに掲載していますので、詳細につきましてはそちらをご覧ください。

組合ＨＰ
ＱＲコード

◆推薦議員団ならびに和歌山労組顧問より年末の挨拶を受ける

中央委員会冒頭、和歌山労組の推薦議員団ならびに和歌山労組の顧問より年末の挨拶をいただきました。

議員団の皆様からは「本年におきましてもご支援とご協力いただきありがとうございました。来年は各級選挙が控えていますので、機関役員の皆様におかれましては引き続きのご支援とご協力をお願い致します」と述べられ、髙橋顧問からは「日頃、全労済の推進にご尽力いただきありがとうございます。本年は自然災害が多く発生し皆様にご迷惑をおかけしましたが、2019 年においても全労済へのご支援とご協力をお願い致します」と述べられました。



和歌山
県議会議員
浦口　高典



和歌山
市議会議員
寒川　篤



岩出
市議会議員
吉本　勧曜



泉南
市議会議員
河部　優



全労災和歌山推進本部
本部長
髙橋顧問

◆第 19 回統一地方選挙における当労組の推薦候補者「坂田　隆徳」氏より挨拶を受ける

2019 年 3 月 29 日（金）告示、4 月 7 日投開票日の統一地方選挙（和歌山県議会岩出市選挙区）に立候補予定の「坂田　隆徳」氏より「この度、和歌山労組の推薦をいただきありがとうございます。当選に向け精一杯努めて参りますのでご支援とご協力をお願いします」と決意表明が述べられました。

皆様のご支援とご協力をお願いします。



坂田　隆徳氏

◆山本組合長より 2018 年の総括挨拶を受ける



山本組合長

第 4 回中央委員会において山本組合長より「支部役員の皆様におかれましては、業務多忙にも関わらず、AP18 春季取組みや和歌山製鉄所・ユニオン杯、上部団体が主催する様々なカンパ活動等にご協力いただきありがとうございました。2019 年も山積する課題に挑戦し、労働組合の存在意義・求心力を高めるべく支部役員の皆様とともに組合活動を進めて参ります。一年間本当にありがとうございました（要旨）」と述べられました。

山本組合長の 2018 年の総括挨拶は組合ホームページに全文掲載していますので、詳細につきましてはそちらをご覧下さい。

◆釜石労組より「釜石支援カンパ」のお礼状が届きました

2018 年 10 月 30 日（火）～11 月 30 日（金）の間、年末助け合いカンパを実施し、その中から東日本大震災の復興支援として「釜石支援カンパ」へ協力して参りました。

この度、釜石労組の三浦組合長よりお礼状が届きましたので、次ページにその原文を掲載します。

皆様のご理解とご協力ありがとうございました。

２０１８年１２月吉日

新日鐵住金和歌山労働組合
組合長　山本　龍一　様

新日鐵住金釜石労働組合
組合長　三浦　一栄

東日本大震災で被災した組合員等への支援のお礼

謹啓　師走の候、新日鐵住金和歌山労働組合におかれましては、益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

さて、和歌山労働組合の皆様には、東日本大震災津波発生から今日に至るまで物心両面にわたり心温まるご支援を頂戴するとともに、１２月中旬には、組合員の皆様の心のこもった義援金を届けて戴きました。

あの悪夢のような東日本大震災大津波から７年９か月が経過しているにもかかわらず、このような支援を戴き感謝の気持ちでいっぱいです。

新日鐵住金釜石労働組合を代表し感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

釜石地域の復興状況についてお伝えさせて戴きたいと思います。

先ずインフラ関係についてですが、２０１９年ラグビーワールドカップ釜石開催が決まって以降、仙台から青森に伸びる三陸縦貫道や秋田から釜石に伸びる三陸横断道の工事が急ピッチで進められており、「命の道」と言われる高速道路の工事が来年３月末に完成する見込みとなっています。

大きな被害を受けた街の中心部も徐々に復興が進み、被災当時の街並みから大きく変わり賑わいもでてきており、正に復興のつち音が感じられるようになってきています。

一方、被災された方々の生活については、１１月末現在、仮設住宅には未だ３４５戸、７９５人の方々が住んでおり、その理由としては、自宅を自力再建する人向けの宅地造成の遅れ、二重ローンなどによる資金繰り、高齢であること、ご家族を亡くし一人であること、メンタル面などがあると考えられています。（岩手県内では、1,526 戸、3,312 人）

災害公営住宅の進捗率は９７％であり、来年３月末には計画戸数の全てが完成する見込みとなっています。しかしながら、災害公営住宅入居の状況を見ると、当初入居見込みより希望者が少なく空き部屋が目立つ状況への対応や高齢の方の入居割合が多く、生活支援やメンタル面のフォローなど寄り添った支援等が今後ますます重要になると考えられています。

新日鐵住金釜石製鐵所やグループ企業の被災された方々についても、多くの方々が生活復興を遂げていますが、未だ数名の方々が浸水地域の嵩上げ工事や区画整備工事の遅れ、今後の身の振りに迷っている等の理由で、社宅や仮設住宅などで不便な生活を余儀なくされています。

以上のことから被災された方々の真の生活復興や地域の復興には、まだまだ長い時間を要すものと考えられることから、今後も被災された方々にしっかり寄り添った活動の展開や組合員を含めた釜石市民が安心して暮らせる街づくりが求められています。

釜石労働組合は、皆様から戴いた支援や激励を心の糧に今後も全力で各種活動に取り組み、組合員等の早期生活復興や釜石地域の早期復興に向け全組合員が一丸となって頑張る所存です。

季節柄、あわただしさが増すとともに寒さが厳しくなってきておりますので、組合員の皆様におかれましては、ご健康に留意され益々ご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。

末筆ながら和歌山労働組合のご発展をお祈りし、略儀ながら書中をもってお礼に代えさせて戴きます。

謹白